

Oguchi Shakyō

おおぐち社協だより

年4回発行(4月・7月・10月・1月)第107号

2019
7
月号

いつまでも元気でくらすために…!
男性も家でかんたんにできる料理を教えます

春編好評につき、夏編の
募集定員を増やしました!
詳しくは14ページへ

くらしのおたすけ講座
かんたん料理教室～春編(令和元年5月24日 健康文化センター1階)

CONTENTS

- ② ★地域の絆 ふれあいサロン
- ④ ★福祉教育特集
- ⑥ ★令和元年度 事業計画・予算
- ⑧ ★令和元年度 大口町社会福祉協議会会員募集
善意だより
- ⑨ ★大口町社会福祉協議会
評議員・理事・監事のご紹介
- ⑩ ★大口町子育て情報 ぎゅっと
- ⑪ ★介護豆知識
- ⑫ ★ボランティア情報局
- ⑯ ★くらしのおたすけ講座 かんたん料理教室
しゃきょうの生活支援 “おたすけ隊日記”
- ⑯ ★災害ボランティアコーディネーター養成講座
児童・生徒の県外自然体験学習事業
- ⑯ ★町内福祉施設見学ツアー
ひとり親家庭夏休み日帰り旅行

大口町社会福祉協議会

事務局

月～金(土日祝・年末年始休)8:30～17:15
電話 (0587)94-0060 FAX(0587)94-0059
〒480-0126 大口町伝右一丁目35番地
大口町健康文化センター(ほほえみプラザ)2階
ホームページ <http://www.oguchi-shakyo.or.jp>
Eメール chiikifukushi@oguchi-shakyo.or.jp



ふれあいサロン連載コーナー 第2回 上小口萩島地区 茶々会

日 時 每月第2土曜日 13:00~15:30
場 所 萩島集会場 参加費 300円



上小口萩島地区は、上小口区の中でも南部に位置し、飛び地になっている地域。

「ここは、上小口というより、やっぱり萩島だね。」とみなさんが口をそろえます。昔ながらの地域のまとまりやつながりがあります。

そんな萩島で、平成17年頃から始まった茶話会。平成25年にサロン「茶々会」と名づけ、ご近所さんが毎月1回、「今日はお茶会の日だよ！」と声をかけあって集まっています。

5月11日、この日も主婦のみなさん10名が、お茶とコーヒー、お菓子を並べたテーブルを囲み、集会場で2時間ほどにぎやかにおしゃべり。

上小口萩島地区は、上小口区の中でも南部に位置し、飛び地になっている地域。

「ここは、上小口というより、やっぱり萩島だね。」とみなさんが口をそろえます。昔ながらの地域のまとまりやつながりがあります。

そんな萩島で、平成17年頃から始まった茶話会。平成25年にサロン「茶々会」と名づけ、ご近所さんが毎月1回、「今日はお茶会の日だよ！」と声をかけあって集まっています。

5月11日、この日も主婦のみなさん10名が、お茶とコーヒー、お菓子を並べたテーブルを囲み、集会場で2時間ほどにぎやかにおしゃべり。

「オレオレ詐欺の電話がかかってきた！」「今度、白内障の手術するんだわ。」「隣の土地の雑草、なんとかならないかね。」「身近なユースや困りごとなど、何でも気兼ねなく話して笑いあい、元気になれる場所です。」

お茶を沸かしたりお菓子を買ってきたりする「お当番」は、持ち回り。参加費300円の理由は、ときどきお昼ご飯やケーキなどのお楽しみもあるからです。

会食会の日は、萩島の男性のみなさんも参加します。中には高齢になり来られる方もいますが、

萩島のみなさんが、月1回楽しみにしている集いです。

(社協生活支援コーディネーター)

小さな地域が多い、少人数が多い。



萩島集会場で集うお茶会「茶々会」のみなさん



ふれあい会食会は萩島の男性も参加



替地住民が憩う喫茶スペース



はなみどう 生花で飾られたお駄駄様の花御堂



替地ふれあいサロン

日時 第2日曜日ほか 9:00~12:00
場所 替地集会場 参加費 100円

～地域包括ケアシステムってこういうこと⑤～

小さな地域・小さな集いの 強い絆

たとえば、「替地ふれあいサロン」。大口町南部は、古くから小字単位の地縁が強く、替地地区では、地域の伝統行事や資源ごみの収集日と兼ねてサロンを開催するようになり、4年目を迎えます。



4月8日のお駄駄様の生誕祭「花まつり」の日には、生花で飾られた花御堂を囲んで甘茶がふるまわれ、多世代の交流を深めました。



スタッフ手作りのゲームで盛り上げる



元気会

日時 第1金曜日・第3火曜日 13:00~15:00
場所 さつきヶ丘防災センター 参加費 100円

「わじりのといわ、やつひるよ、

みんなが、「自分たちの地域」「自分たちの仲間」と言つのは、どんなときでしょうか。
それはもしかしたら、いくつも地域の、少数の仲間の集いのことかもしません。

たとえば、「替地ふれあいサロン」。大口町南部は、古くから小字単位の地縁が強く、替地地区では、地域の伝統行事や資源ごみの収集日と兼ねてサロンを開催するようになり、4年目を迎えます。



祭「花まつり」の日には、生花で飾られた花御堂を囲んで甘茶がふるまわれ、多世代の交流を深めました。



全員の顔が見えるふれあい会食会

5/28～30

・「SHIPおおぐち」が大口中学校で

知的障がい・発達障がい理解の福祉実践教室

5月28日から30日までの3日間、大口中学校1年生7クラスを対象として、SHIPおおぐちが講師となり福祉実践教室を行いました。

この教室は、知的障がいや発達障がいがある人のことを知つてもらい、障がいの有無に関係なく、ともに生きることの大切さを伝えるプログラムとなっています。

講師は、詩人・金子みすゞの代表的な詩である『わたしと小鳥と鈴と』を朗読し、「みんなちがってみんないい」の一節をテーマに、ひとりひとりの素晴らしい個性を尊重しようと呼びかけます。

見た目ではわからない知的・発達障がいのある人の気持ちを理解してもらうため、講義では様々な体験プログラムを用意。

授業を受けるのは、生徒だけではありません。先生も一緒に、障がいのある人の気持ちを体験します。

軍手をはめて折り紙を折る体験では、「早くって言われて急かされると、焦って上手に折れない!」「集中したいのに、騒がしくてイライラする!」と体験した生徒たち。作業中は、落ち着いた環境で静かに見守ることの重要性を呼びかけます。

講師をつとめるSHIPおおぐちは、「人はそれぞれ苦手なものがある。それは、障がい者も同じ。障がいのある人もない人も、みんなで助け合いながら、生きていくことが大切なことです。」と訴え、生徒たちは熱心に講師の話を聞いていました。



言葉が伝わらないときは、ジェスチャーや絵・図で表現。言葉以外にも様々なコミュニケーションツールがある。

5/9

・ボランティア「うさぎとかめ」がトヨタ紡織(株)大口工場で

トヨタ紡織株式会社 役員・社員による高齢者疑似体験

5月9日、トヨタ紡織(株)大口工場で、ボランティア「うさぎとかめ」が高齢者疑似体験講座を行いました。

同社は、さまざまな価値観を尊重し、多様な働き方の受容に努めて人材を活用していく「ダイバーシティ」に取り組まれています。

性別や年齢、障がいの有無などに関わらず、多様な動き手を確保し、社員が働きやすい環境を目指して、関連グループ会社を含むトヨタ紡織(株)の役員と社員がダイバーシティに関わる会議を開催。

今回の講座は、その会議の一部で行わ

れ、40名の役員・社員の皆様が受講しました。

講座では、高齢者の特性や身体の動きを学んだうえで、高齢の社員と接する上での留意点などについて勉強。

その後、手足の動かしにくさや目・耳の不自由さを体験できる装具を着用し、日常生活の動作に挑戦しました。

参加者からは「想像以上に不便が多く、実際に体験してみると分からぬ辛さがあった。」「高齢の社員に対する配慮すべき点について、現場社員にも伝えたい」との感想をいただきました。



～子どもから大人まで
ともに生きる力を育む～

福祉教育



子どももお年寄りも、障がいのある人もない人も、すべての人々がお互いを尊重し、地域の中でともに生きる『共生(きょうせい)』社会をつくり出していくためには、子どもの頃から生涯にわたる福祉教育が大切であると言われています。

大口社協は、子どもと大人がともに育ち、学び合う福祉教育に取り組み、活動を支援しています。



3/28

・学校・講師・社協の三者で一年の取り組みを振り返る

福祉実践教室報告会

3月28日、大口町健康文化センター1階多目的室で、平成30年度 福祉実践教室報告会を開催。町内小学校の教諭、福祉実践教室で講師を務めるボランティア団体等、あわせて22名が参加しました。

町内すべての小中学校で実施されている「福祉実践教室」。いまや学校教育における福祉教育として定着していますが、平成3年から長年にわたり社会福祉協議会が支援してきた取り組みのひとつです。

報告会は、今回初めて開催され、1年間の福祉実践教室の取り組みを振り返り、学校や、講師のそれぞれの意見や要望を共有して次年度に活かしていくことを目的としています。

社会福祉協議会が支援を始めた当初から点字教室の講師として携わっているボ

ランティア団体『点訳フレンド』は、「時代とともに、子どもたちの様子が変われば、先生たちの様子も変わる。自分たちが行う授業の内容も、その時代に求められるものに変えていかなければならない」と思っています。

報告会で上がった意見や要望を踏まえ、今年度に実施する福祉実践教室がより良いものになるよう、引き続き、学校や講師と連絡・調整を図っていきます。



令和元年度 事業計画・予算

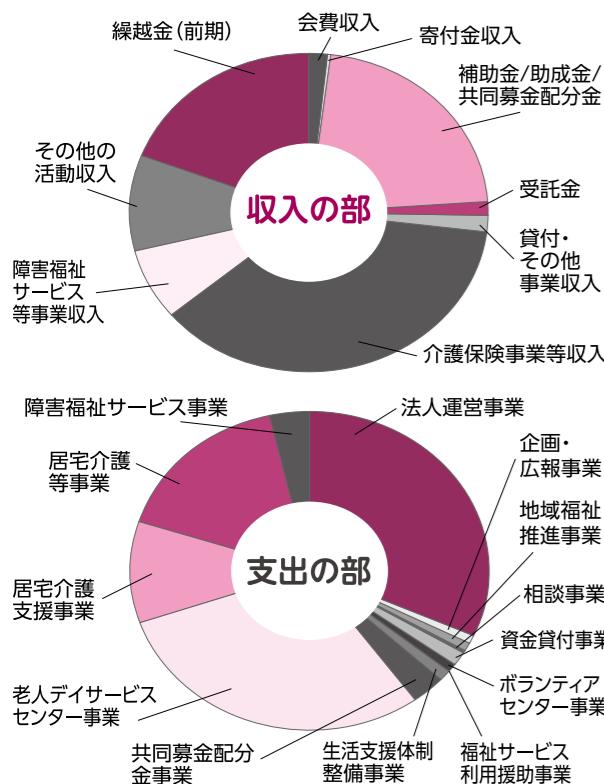
令和元年度予算のあらまし

●収入の部

項目	金額(単位:千円)
会費収入	3,200
寄付金収入	401
補助金/助成金収入/共同募金配分金	37,453
受託金	2,257
貸付・その他事業収入	2,828
介護保険事業等収入	63,322
障害福祉サービス等事業収入	12,086
その他の活動収入	16,680
繰越金(前期)	32,651
収入合計	170,878

●支出の部

項目	金額(単位:千円)
法人運営事業	54,362
企画・広報事業	1,410
地域福祉推進事業	1,380
相談事業	575
資金貸付事業	2,500
ボランティアセンター事業	1,098
福祉サービス利用援助事業	267
生活支援体制整備事業	1,637
共同募金配分金事業	5,415
老人デイサービスセンター事業	50,791
居宅介護支援事業	17,532
居宅介護等事業	28,150
障害福祉サービス事業	5,761
支出合計	170,878



誰もが安心して暮らせる 地域づくりを目指します

10 共同募金事業(大口町共同募金委員会事務局)

支え合い活動としての共同募金を計画に基づいて展開し、募金への意識を高めます。共同募金配分金事業の推進と充実を図ります。

11 貸付事業

低所得世帯や障がい者・高齢者世帯等を対象とする生活福祉資金・くらし資金貸付事業を行います。また貸付後は訪問や相談支援を行なながら、償還指導を行います。

12 相談事業

定期的に女性・母子父子自立支援・弁護士の心配ごと相談所を開設します。総合福祉相談窓口を常設し、病気や生活困窮等、さまざまな理由により生じた日常生活の困りごとにに関して、幅広く相談に応じます。

13 日常生活自立支援事業

専門員による相談窓口を開設し、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方に対し、契約に基づき福祉サービス利用援助、金銭管理、書類や通帳等の預かりサービスを行います。

14 貸出事業

町民、行政区、学校、企業等を対象に、車いす・松葉杖・福祉車両・綿菓子機・障がい者スポーツ用具等の各種貸出サービスを行います。

15 在宅福祉サービス3事業所の経営

大口社協居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)、訪問介護事業所(ヘルパー)、大口社協デイサービスセンターを経営し、高齢者・障がい者等の利用者に介護サービスを提供します。

16 防災・災害事業

大口町防災啓発事業を受託し、防災・災害に関する研修や人材育成の講座等を開催します。地域の防災訓練への参加や、被災地へボランティア等の派遣、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練等を行います。

17 生活支援体制整備事業

大口町生活支援体制整備事業を受託し、生活支援コーディネーターとして、地域の社会資源やニーズ把握、話し合いを進めます。

住民参加型の生活支援サービス「おたすけ隊」の活動のマッチング・コーディネート等を行います。

18 顕彰・表彰事業

行政と共に大口町表彰式を開催し、福祉功労者等の表彰を行います。

19 福祉関連事業

行政等より受任する役員・委員等として各種会議・研修等への出席、点字投票制度への協力、その他社会福祉事業に必要な事業を行います。

1 社協組織の充実と会員の拡大

理事会・評議員会や研修会を開催し、情報の共有と地域福祉への理解を深めながら事業を推進し、会員の拡大により自主財源増収に努めます。

2 広報・啓発活動

広報やホームページ、大口町ふれあいまつりの「ふくしづくわくランド」等を通して、社協情報の発信と福祉のPRと啓発に努めます。

3 ボランティア活動の強化と拡大

夏休みボランティア出前講座、ボランティア養成講座等を開催し、活動の紹介や人材育成、福祉教育に努めます。ボランティア団体への助成、保険加入、ボランティア派遣、ボランティア連絡協議会の運営支援、ボランティアセンター運営委員会等を行います。

4 児童福祉

次世代への福祉教育として、小中学校での福祉実践教室や家族福祉教室を開催します。民生委員児童委員のドアノック用赤ちゃんプレゼント、子育てサロンや子育てに関するボランティア活動を支援します。

5 高齢者福祉

85歳以上の単身高齢者等へおせち料理、米寿の方へお祝い品をお届けします。孤立しやすい高齢者等を含め、地域住民の交流の輪を広げる「地域ふれあい会食会」を支援します。

6 障がい児者福祉

障がい者スポーツ大会、重度身体障がい者日帰り旅行を開催します。「おもちゃ図書館さくら」や「フリースペースれんげそう」を支援します。町の委託を受けて障がい者の移動支援サービスを提供します。

7 母子父子福祉

ひとり親家庭向けの日帰り旅行、就業や資金貸付の相談、母子寡婦福祉会の支援を行います。小・中・高等学校等への入学お祝い金を贈ります。

8 ふれあいサロン事業

サロン立ち上げや運営について、備品助成や開催1回につき1,000円の助成をします(上限あり)。チラシや広報でのPR、サロンどうしの連絡会を行います。

9 福祉関係団体の育成・助成

福祉団体に対し助成金を交付し事業の推進を図ります。(身体障害者福祉協会、心身障害児(者)親の会、更生保護女性会、遺族会、母子寡婦福祉会、保護司会、大口しらゆり会、尾北地区聴覚障害者福祉協会)



令和元年度 事業方針

超高齢・人口減少社会を迎えて誰もが安心して地域で暮らしつづけるためには、在宅の医療・介護の充実だけでなく、それとの地域に合った方法で地域福祉活動をすすめ「地域共生社会」を実現することが求められております。「地域共生社会」とは、高齢者、障がい者、児童、ひとり親家庭、生活困窮者といった制度・分野ごとの縦割りや、「支え手」「受け手」という関係を超えて、人が世代や分野を超えてつながり、住民一人ひとりのくらしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものです。その実現には、住民と福祉関係者がともに地域住民の課題を「我が事」として受け止め、解決して超高等事業化した住民参加型の生活支援「おたすけ隊サービス」は、制度の狭間の困りごとや複合的な生活課題を抱える住民のニーズに応じ、地域住民の力で解決するしくみのひとつとしてスタートしております。地域力の強化や「地域共生社会」の実現にもつながる地域福野を問わずさまざまな相談を受け止め、ひとりで参ります。また、社会福祉協議会は、地域福祉と在宅介護サービスが揃つ「ふくしの専門店」として、分野を問わずさまざまな相談を受け止め、ひとりの困りごとを解決するための生活支援・介護活動として、さらなる事業の充実に取り組んで参ります。

「おたすけ隊サービス」は、制度の狭間の困りごとや複合的な生活課題を抱える住民のニーズに応じ、地域住民の力で解決するしくみのひとつとしてスタートしております。地域力の強化や「地域共生社会」の実現にもつながる地域福祉活動として、さらなる事業の充実に取り組んで参ります。また、社会福祉協議会は、地域福祉と在宅介護サービスが揃つ「ふくしの専門店」として、分野を問わずさまざまな相談を受け止め、ひとりの困りごとを解決するための生活支援・介護活動として、さらなる事業の充実に取り組んで参ります。

保護サービスから、ボランティアの支援、地域の絆と交流を育む居場所づくりの支援まで幅広い地域福祉活動を行い、この町のすべての人々の暮らしを支える組織となるよう努力して参ります。その実現に向けて、公益性と透明性の高い事業・組織の経営を行なうながら、住民の皆様とともに歩む地域福祉の推進と親しまれる介護サービスの提供に努め、以下の諸事業を実施して参ります。

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会
会長 社本一裕

大口町社会福祉協議会 評議員・理事・監事のご紹介

大口社協は、地域のみなさまの幅広い意見を取り入れながら公共性・透明性の高い事業を実施するため、住民代表や団体代表等の方々の参加により、評議員会・理事会を組織しています。

以下のとおり、評議員・理事・監事をご紹介します。
(令和元年6月末現在 順不同、敬称略)

●理事(11名)

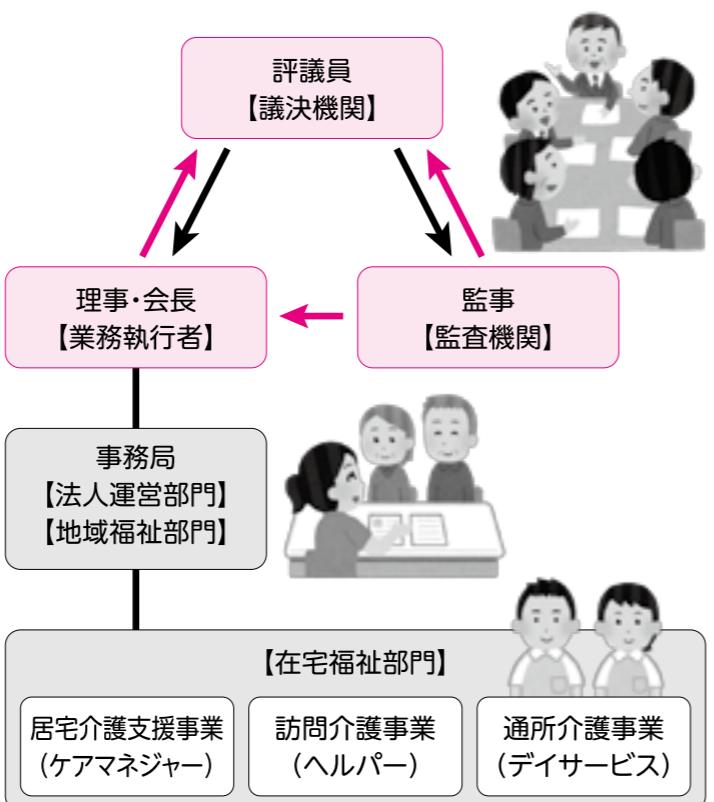
選出区分	氏名
大口町における福祉に関する実情に通じている者	長谷川 実 大森 明
区域において社会福祉事業を経営する団体の役職員	佐野 新 遠藤 匡彦
ボランティア活動を行う団体の代表者	三浦 京子
地縁組織の代表	吉田 治則(※)
福祉関係団体	伊神 英臣 安藤 巍
社会福祉事業の経営に識見を有する者	社本 一裕(※) 田中 義郎(※) 宇野 千春

(※)令和元年6月18日の評議員会において選任

●評議員(33名)

選出区分	氏名		選出区分	氏名	
社会福祉事業や学校等のその他公益事業の経営者	田中 一輝	鈴木 洋子		東阪 富夫(※)	社本 元治(※)
	倉知 静子	近藤みち子		平野 和夫(※)	服部 俊文(※)
	中西 房子	廣瀬 國吉		仙田 邦利(※)	白井 幸雄(※)
	山下 雅子	江口 洋子		丹羽 義文(※)	田中 将弘(※)
	藤田 豊子	田口都代子		武田 静雄	渡會由貴夫(※)
	松坂志づ子	木野 芳子		伊與田泰司(※)	加藤 憲司(※)
	近藤 義文			後藤 卓郎	伊澤 清
地域の経済団体が適切なものとして推薦する者	社本 義寛	酒井 孝		近藤 喜昭	瀬川 行男
区域内において社会福祉事業を経営する団体の役職員	西尾 洋司(※)		ボランティア活動を行なう団体の代表者	伊藤寿満子	

(※)令和元年5月30日の評議員選任・解任委員会において選任



会長・副会長のご紹介

令和元年6月18日の理事会において、大口町社会福祉協議会の会長及び副会長が選任されましたので、ご紹介します。

会長　社本 一裕
副会長　安藤 巍

善意だより

社会福祉に役立ててほしいと、大口町社会福祉協議会にあたたかい寄付・寄贈が寄せられました。厚くお礼申し上げますとともにご報告します。順不同(3月2日～5月31日 取扱い分)

秋田さわやかクラブ 様	10,000円
外坪さわやかクラブ 様	22,896円
もくせいの会 様	43,301円
マザックボランティアクラブ様(エコキャップ)	18,274円
「小さな善意で大きな愛の輪」アピタ大口店様	78,017円
匿名希望	24,090円
紅谷 安敬 様	シルバーカー2台
緒方 友子 様	布地(大口社協デイサービスセンターへ)

令和元年度 大口町社会福祉協議会会員募集

社会福祉協議会(社協)会員にご加入をお願い申し上げます

日頃は、本会諸事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

社会福祉協議会(以下、社協)では、毎年7月・8月、町内世帯の皆様には各区の区長さんを通じて、企業・法人様には社協より直接加入のお願いしてまいります。

「誰もが、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、社協の地域福祉活動・事業の趣旨にご理解を賜り、会員にご加入いただけますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 大口町社会福祉協議会 会長 社本 一裕



社協会員って何?

社協会員とは、社協の理念に賛同し、社協の地域福祉活動を資金面から支えていただく方々です。

大口社協の活動は、町民の皆様や企業・法人様からの社協会員の会費、寄附金などによって支えられています。

会費は社協事業を行う貴重な財源となっており、一般会員(500円)・贊助会員(1,000円)・法人会員(3,000円)の会費を活用し、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」のための事業(P.6～7の事業計画を参照)を実施させていただきます。

社会福祉協議会(社協)って何?

社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的として、社会福祉法に基づき、都道府県・市区町村ごとに設置された非営利の民間組織であり、公共性が高い事業を行う行政補助団体です。略して「社協(しゃきょう)」と呼ばれています。

社協は、地域住民の皆様や社会福祉関係者の参加・協力により、地域福祉推進の役割を担い、地域の特性に合わせて全国で活動しています。

大口社協も、町内の各地域の特性を踏まえつつ、福祉課題や住民のニーズに合わせて、行政だけでは担いきれない非営利・公共性の高い、さまざまな福祉事業を実施しています。

平成30年度 法人会員ご紹介

(有)大森新聞店 様

社協会員へのご加入誠にありがとうございました。
(97法人のうち、追加ご加入分のみ掲載)



介護豆知識⑨
高齢者の
施設 No.2

ひと口に『施設』と言っても、さまざまな種類の施設があり、対象となる方や、提供するサービスが異なります。今回は主な『施設』を10種類ご紹介したいと思います。同じ種類の『施設』でも費用は大きく異なることがありますので、施設を選ぶ際の参考にしてください。

施設の種類	対象者	サービス	一時金	月額利用料	その他
特別養護老人ホーム	65歳以上で要介護3以上の方	介護サービス	なし	介護度によって変わる 6万～15万円	介護度が高い方優先
介護老人保健施設	65歳以上で要介護1以上の方	介護サービス リハビリ訓練 医療サービス	なし	介護度によって変わる 10万～20万円	リハビリして自宅に帰ることが基本 長期入所となる場合あり
介護療養型医療施設	要介護1以上で医療的介護が必要な方	介護サービス 医療サービス	なし	数万～15万円	医療費が高額になる可能性がある
軽費老人ホーム	自立の方で家族からの援助が受けられない方	食事提供のみ	なし	収入によって変わる 最低3万円～	低所得者優先
ケアハウス	60歳以上で要介護3までの方	食事提供のみ	あり	数万～20万円	掃除・洗濯・入浴は自分で行う
グループホーム	要支援2以上且つ認知症で共同生活ができる方	生活援助全般	あり	15万～25万円	家庭的環境で共同生活という機能訓練を行う
介護付有料老人ホーム	65歳以上で要介護1以上の方	生活援助全般 介護サービス	施設によって大きく異なる	15万～30万円	介護度が重度になっても住み続けることが可能
住宅型有料老人ホーム	60歳以上で自立から要介護までの方	安否確認 食事・清掃・買物 レクリエーション	施設によって大きく異なる	最低10万円～	施設内に在宅サービス事業所がある所が多い
健康型有料老人ホーム	自立から要支援までの方	食事・清掃・洗濯 スポーツジム 図書館・映画館 サークル活動	あり(高額)	20万～40万円	要介護状態になった場合は退居となる
サービス付き高齢者住宅	60歳以上の方	安否確認 生活相談	あり	施設によって大きく異なる	施設により掃除・洗濯サービスあり 買物や通院は本人、家族で行う



「いざという時に備えていますか?」いつ起きるかわからない災害。子どもを守るためにも準備をしておきましょう。特におすすめなのが、「あんしん安全ねっと」からのメール配信です。簡単にできるので、登録しておけば安心です!

町民安全課 <大口町役場 1F> TEL(0587)95-1966

◇ 情報伝達

災害の伝達手段として、防災無線、メール配信をおこないます。

防災行政無線

無線機を希望される家庭に配布しています。朝晩に無線の受信確認のため、町の情報を流しています。受信できない場合は、町民安全課までお問い合わせください。

メール配信

「あんしん安全ねっと」では、メール配信をおこないます。内容は、消防、防災、気象、防犯、生活情報を選択することができます。希望される方は、次のアドレスに空メールを送信してください。
oguchi@entry.mail-dpt.jp



◇ 地震発生 そんな時どうする?

家の中

- ・まずは身を守る(頭部の保護)
- ・揺れが収またら、火の始末は速やかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)

集合住宅／エレベーター

- ・ドアや窓を開けて避難通路を確保する。
- ・避難にエレベーターは絶対使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

車を運転中

- ・ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- ・揺れが収まるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- ・避難が必要なときは、キーをつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ちだし、徒歩で避難を。

路上

- ・その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- ・ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- ・近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ・倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意。

手話サークル コスモス

いつもの活動

- 小中学校から依頼があれば、総合学習(福祉実践教室)の講師として活動しています。
- 聴覚障がい者と手話を通じて情報交換し、交流をしています。
- 手話の必要性を社会に伝えていく活動もしています。
- いろいろな行事に参加、協力をしています。
- ふれあいまつりでブース出展をしています。



出張講座では

自己紹介や簡単なあいさつや歌などを手話で表現してみましょう。ジェスチャーで、カードに描いてある絵を伝えたり、身近なものを表してみましょう。どれだけ、人に伝えられるかの体験ができます。



前回の様子

レクリエーションボランティア ここね

いつもの活動



出張講座では

子ども向けのレクリエーションやゲームでみなさんと楽しみましょう。



前回の様子

募集しま～す!

今まで、とても温かいイラストを描いてくれていた、渡邊明衣さんの就職がめでたく決まり、4月から県外で生活することになりました。お仕事上、イラストを描き続けることができなくなり、手描きイラストをあきらめかけていたところ、7月号はOZメンバーの娘さんが急きよ描いてくれました。そこで、今後は、手描きイラストを募集してみることにしました。詳しくは、**大口社協ボランティアセンター (TEL:94-0060、FAX:94-0059)**までご連絡ください。よろしくお願ひします。

今年の出前講座は私たちのサークルです！



夏休みボランティア出前講座

☆今年で8年目を迎えます～☆

日程・時間	場所	実施サークル・内容など (詳しくはサークル紹介で)
8月21日(水) 10:00～11:30	南児童センター ☎95-3528	災害救援ボランティア いざというときに、新聞紙やロープが役に立つことの体験をします。
8月22日(木) 10:00～11:30	北児童センター ☎95-7141	手話サークル コスモス 簡単な手話や、ジェスチャーを使ったクイズやゲームなどをします。
8月26日(月) 13:30～15:00	西児童センター ☎96-0481	レクリエーションボランティア ここね 心も体も温まるレクリエーションやゲームをみんなで楽しめます。

ボランティア出前講座の目的と参加対象は～？

目的は、簡単で楽しい体験をとおしてボランティア活動への関心を深めてもらうことと、より多くの子どもたちへ福祉教育を推進していくことです。参加対象は、地域住民どなたでもOKです。

問合せ先
大口社協ボランティアセンター
TEL 0587-94-0060
FAX 0587-94-0059

みなさんの
カレンダーにも、
書いておいて
くださいね。



災害救援ボランティア

いつもの活動

- はそりを使った炊き出し訓練や、災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練などをおこなっています。
- 防災に関する各種研修●講座(避難所運営ゲーム(HUG)、災害図上訓練(DIG))への参加や、講師活動、実施協力などで活動しています。
- 東日本大震災復興支援ボランティア活動に参加、その後も町内でおこなわれている被災地支援活動(支援物資の袋詰め等)に参加しています。
- ふれあいまつりでブース出展をしています。



出張講座では

引っ張っても結び目が動かないが、必要となれば、水で濡れていたりしても簡単にほどくこともできる「もやい結び」(何年か前、嵐の松本潤さんがテレビでチャレンジしていました)や、ケガをしたときの応急処置として三角巾の使い方の体験をします。また、新聞紙で簡単に作れるスリッパの作成もします。

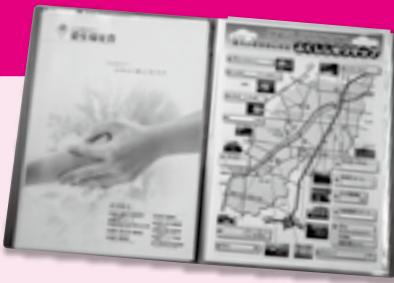


前回の様子

町内福祉施設見学ツアー

参加者募集

参加者全員にもれなく
施設パンフレットのセット差し上げます!



■日 時 8月8日(木)

※午前10時集合、午後2時頃解散予定

■集合場所 大口町健康文化センター1階 多目的室

■行き先 下記の町内施設一覧のとおり

■定 員 15名(※定員になり次第、受付を終了)

■対象者 町内在住・在勤の方

家族や友人どうしグループでの参加、小学3年生以上はお子さんのみの参加もOK!

※お子さんは、小学校1年生以上(1・2年生は、必ず保護者同伴でお願いします)

■参加費 1人500円(Kラインの給食代実費)

■申込み 令和元年7月9日(火) 午前9時から
窓口・電話で受け付けます。

■申込先 社会福祉協議会 電話 94-0060
FAX 94-0059

施設種別	施設名
有料老人ホーム ショートステイ等	医療法人 医仁会 住宅型有料老人ホーム 太郎と花子
高齢者デイ、訪問サービス 幼児自主事業等	特定非営利活動法人 わたばうし
有料老人ホーム 高齢者デイサービス等	Kラインケア株式会社 Kライン・ケアレジデンス大口

お子さんが、福祉を知るきっかけに!

身の回りのことが自分でできる小学3年生以上の
お子さんは、保護者が一緒でなくても参加できます。

お年寄りや障がいをもつ方と交流したり、生活や
活動の様子を見せていただいたりするため、福祉に
関わる作文やポスターなど、夏休みの課題の題材と
しても活用できます。

きょうだいやお友だちどうしで参加してください
ね♪

大人の方が、施設を知るきっかけに!

町内のどこに施設があり、どのようなサービスを
受けられるのか知っていますか?

何かきっかけがないと、施設の中のことを知る機
会は少ないのでかもしれません。

当日は、施設職員の方の案内による施設内見学の
ほか、給食の試食もあります。

将来への備えとして、大人の方にもぜひ参加して
いただきたいツアーです!

赤い羽根共同募金配分金事業

ひとり親家庭夏休み日帰り旅行

参 加 者 募 集



■日 時 8月3日(土) ※6時45分出発

■集合場所 大口町役場南側 三菱UFJ銀行ATM前

■行 き 先 大阪市 ユニバーサル・スタジオ・ジャパン

■参加要件 町内在住のひとり親家庭で、子どもさんが
18歳(高校生)以下の親子

■参 加 費 大人(中学生以上) 5,000円
小人(4歳以上～小学生) 3,000円
(ユニバーサル・スタジオ・ジャパンパス
ポートの料金を含む)

■参加費に含まれるもの

往復バス代、バス旅行傷害保険、ユ
ニバーサル・スタジオ・ジャパンパス
ポート

※食事代は含まれません

■定 員 45名(定員になり次第締め切ります)

■申 込 み 令和元年7月8日(月) 午前9時から
窓口・電話で受け付けます。

■申込先 社会福祉協議会 電話 94-0060
FAX 94-0059